



スーパーGT 第2戦 2022年5月3-4日 富士スピードウェイ



予選 7th / 決勝 9th

450Kmという長距離レースの富士大会。一般観戦券は完売となり連休らしい賑わいです。チームが得意とするコースで期待も大きい中でしたが、吉田選手がコロナで欠場に。急遽、Aドライバーとしてチームを引っ張ることになり、菅波選手を代役に迎え、チーム一丸となって戦いました。レースは途中、2回の赤旗で中断、SC先導のまま制限時間を迎え62周でレースは終了。9位となりました。

たくさんの応援、ありがとうございました。



<予選>

予選はA・Bの2グループ制。菅波選手がQ1を担当。早々のアタックでグループ3位、Q2へ進出。当方はQ2を担当、決勝グリッドに向けてアタック。早めにタイムを出しましたが、後半、他車に塗り替えられ予選結果は7位になりました。

<決勝>

スタートは菅波選手。450Kmを二人で勝つために緻密な戦略を立てまず6周目で軽く給油。レースの1/2を超えたところで、GT300のマシンが大きくクラッシュ。FCYからSCへ。このSC明けに先に給油だけ完了。しかしこの後、コースのバリア修復が必要になり、赤旗。レース中断になりました。レース再開後、すぐにピットに入りタイヤ交換とドライバー交代実施。後半担当としてマシンに乗り込み追い上げを図ります。ところが、復帰3周後の58周目にホームストレートでGT500の大きなクラッシュが発生。再度赤旗でレース中断。



クラッシュしたマシンの損傷が激しく、場内は緊張に包まれましたが人的な被害はありませんでした。コース修復後、SC先導でレースが再開。タイムアウトのため62周でチェッカーとなりました。

2回の赤旗中断により、給油回数とドライバー交代義務のルールが急遽撤廃。当チームは、戦略として当初のルール通りピット義務を終えていました。ここまでの作戦が完璧だっただけに結果につなげられなかったことは残念です。一方で、大きなクラッシュでしたが人的被害が無かったことに心から安堵しています。また、遅くまでたくさんのお客様が見守って下さり感謝の気持ちでいっぱいです。周回数が規定に満たないことからポイントは半分。100周という長丁場は思いもよらない荒れたレースになりました。次戦のスーパーGTは5/28-29鈴鹿サーキットです。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。